

臨床研究「ICU 患者における包括的な皮膚傷害に関する実態と
リスク因子の調査：後方視的観察研究」について

筑波大学附属病院救急・集中治療科では、標題の臨床研究を実施しております。
本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

集中治療室（Intensive Care Unit: ICU）における褥瘡発生率は、非常に高く問題視されてきましたが、近年、高性能エアマットレスなどの体圧分散寝具の登場により、その発生率は劇的に減少してきています。その一方で、表皮剥離や医療関連機器圧迫創傷、失禁関連性皮膚炎などの褥瘡以外の皮膚傷害に対する問題意識が高まってきています。これらの皮膚傷害は患者さまにとって痛みや苦痛を伴い、原疾患とは別に治療を要するため、時間と費用もかかります。

これら褥瘡、表皮剥離、医療関連機器圧迫創傷、失禁関連性皮膚炎などをまとめた皮膚傷害が ICU でどの程度起こっているのかは不明であり、その要因も明らかになっていません。

我々は、ICU において包括的な皮膚傷害の発生率を調査し、その有病率と実態を明らかにすることを目的とし、合わせて、各皮膚傷害のリスク因子の違いについても評価することも目的としています。それら実態とリスク因子を明らかにすることができれば、ICU において重点的に介入が必要な皮膚傷害が何か明らかになり、今後のリスク因子の評価、介入研究のための基礎的データとなります。

② 研究対象者

2020 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日までに当院 ICU に入室した患者さん

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2024 年 3 月 31 日まで

④ 研究の方法

集中治療室に入室された成人患者さまのカルテから、身長や体重、疾患などの基礎的情報から皮膚に関連するデータを収集させていただきます。患者さまに追加でご協力いただくことはありません。

⑤ 試料・情報の項目

年齢、性別、身長、体重、疾患、併存疾患、重症度スコア、褥瘡、表皮剥離、医療関連機器圧迫創傷、失禁関連性皮膚炎、その他皮膚傷害もしくは圧迫創傷、ブレーデンスケール、各種医療デバイス、使用薬剤、検査データ、循環動態、呼吸状態、水分出納バランス、栄養状態、

意識状態、鎮静深度、人工呼吸期間、ICU入室期間、死亡率

⑥ 試料・情報の管理について責任を有する者

医学医療域 救急・集中治療医学 井上貴昭

⑦ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：救急・集中治療医学研究室 大学院生 相川玄

電話：080-2011-7440

メール：gethoon@gmail.com

対応可能時間：平日9～17時